

この手順書をオイル交換サービススタッフの方にお渡し下さい。

◆◆『オイル注入の手順書』◆◆

■オイルの混合割合:オイルを注入する車のエンジンオイル容量に対し5%が適量です。

例)エンジンオイル全量が4Lの場合、エンジンオイル 3.8L+オイル 0.2L になります。

※但し、お客様のお車が 0W-20 のエンジンオイルを専用指定している場合は混合率3%になります。

最下部補足説明参照。

- ① まずは、オイルパンにあるドレンボルトを緩めます。※緩める前にドレンボルトとオイルパンにマジックなどで合せ目を書いておくと、締め付けるときの締め付け位置の目安となります。
- ② ドレンボルトを外して古いエンジンオイルを抜き取ります。
- ③ 古いエンジンオイルが完全に抜けたら、先程付けた目印の合せ目の位置までドレンボルトを締め付けます。
- ④ エンジンヘッドにあるオイルキャップを外し、用意した新品のエンジンオイルと、オイル(5%)を注入します。
この時、最初から混ぜて馴染ませてから入れるとすぐに効果が表れます。
- ⑤ 入れ終わったら、オイルレベルゲージで適量範囲に収まっていることを確認して、オイルキャップを締め付けます。
- ⑥ エンジンオイルを注入する時、エンジンオイルとオイルを別々に入れた時は、10分程度アイドリングしてオイルを馴染ませます。

以上でオイルの注入作業は完了です。

◆◆初回オイル注入後のオイルエレメント交換◆◆

オイルは、初回注入してから約 1000km 走行後に、オイルエレメントのみを交換してください!!

これはオイルのネバネバした特性が、通常のエンジンオイルよりも金属片やスラッジを多く洗浄するからです。

このため、オイルエレメントには通常より多くスラッジ類が溜り、フィルター効果を果たし難くします。

◆◆お客様より次のような声を頂きました◆◆

1000km でオイル交換した時のオイルの黒さにはビックリしました。

毎回 2000km で交換しているのですが、2000km 走った時よりも汚れていました。この洗浄効果は今後の期待できそうです。

エンジンオイル交換時に、作業を行って頂くディーラーやカーショップのサービススタッフ方に、その旨お話ししますと、ご相談に乗って下さり 1000km 走行後のエレメント交換がスムーズに運ぶかと思えます。

2回目からのエレメント交換は、通常のエンジンオイル交換 2 回に 1 回の割合で OK です。

初回のみ少し面倒ですが、オイルエレメントの機能を維持するために是非とも行って下さい。

何かご不明な点などございましたら、お問い合わせ願います。

info@bridgecompany.co.jp (有)ブリッジカンパニー

大杉幸一

◆◆補足説明◆◆

メーカー推奨のエンジンオイルが 0W-20 以下の低粘度オイルのみを指定する車では、オイルの混合率を必ず **3%**にしてください。

例)エンジンオイル容量 4Lの場合

混合量: $4L \times 3\% = 120cc(0.12L)$ エンジンオイル全量の内訳: エンジンオイル(3.88L) + オイル(0.12L) = 4L(全量)

※ご自身のお車が 0W-20 以下の低粘度オイルのみを指定されていないか、事前に必ずお確かめください。